

問1 室町幕府の3代将軍足利義満が開始した明との公式な貿易では、倭寇と正式な貿易船を区別するために、明から交付された特定の証明書が用いられた。この貿易を何というか。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. 南蛮貿易 2. 勘合貿易 3. 日朝貿易 4. 琉球貿易

問2 中世の日本海交易において、津軽半島の十三湊を拠点として活動し、鎌倉幕府から蝦夷沙汰職に任じられて北方の管理や交易を統括したとされる武士の一族は何か。 (2006年 全国公立入試 類似)

1. 山名氏 2. 安藤氏 3. 大内氏 4. 赤松氏

問3 室町幕府の3代将軍足利義満は、将軍権力を強化するために有力守護の勢力削減を図った。その一環として、周防など数力国の守護を兼ね、朝鮮や明との独自交易によって強大な経済力を有していた大内義弘が、1399年に堺で挙兵したものの幕府軍に滅ぼされた。この一連の出来事を何というか。 (2006年 全国公立入試 類似)

1. 嘉吉の乱 2. 応永の乱 3. 明徳の乱 4. 応仁の乱

問4 鎌倉時代には、新仏教の開祖の生涯や布教の足跡を描いた作品が数多く制作された。このうち、全国を巡行して踊念仏を広めた宗派の開祖の生涯を描き、当時の地方の市(市場)や庶民の生活、武士の館などの様子を写実的に伝えている、法眼円伊が描いたとされる絵巻物は何か。 (2006年 全国公立入試 類似)

1. 春日権現験記 2. 一遍上人絵伝 3. 法然上人絵伝 4. 西行法師絵伝

問5 戦国時代に関東地方を支配し、本拠地である小田原に城下町全体を囲む大規模な外郭(総構)を築いて防衛力を高めたが、1590年に豊臣秀吉の包囲攻撃を受けて滅亡した戦国大名の一族は何か。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. 上杉氏 2. 今川氏 3. 北条氏 4. 武田氏

問6 鎌倉幕府の実権を握った北条政子の政治的役割について、源実朝の世において実質的に彼女の世であったと記し、武家政権の誕生を「道理」の推移の観点から歴史的に位置づけた、天台座主の慈円が著した歴史書は何か。 (2026年 全国公立入試 類似)

1. 百鍊抄 2. 吾妻鏡 3. 愚管抄 4. 増鏡

問7 後醍醐天皇による建武の新政に反発した足利尊氏は、1335年に反乱を起こして翌年に京都を制圧した。このとき尊氏が擁立し、北朝の初代となった持明院統の天皇は誰か。 (2007年 全国公立入試 類似)

1. 光明天皇 2. 崇光天皇 3. 光厳天皇 4. 長慶天皇

問8 鎌倉幕府が、蒙古襲来ののちに九州の防衛強化や現地御家人の統制・裁判業務を行うために設置した鎮西探題は、現在の福岡県にあるどの都市に置かれたか。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. 敦賀 2. 尾道 3. 博多 4. 兵庫

問9 室町時代、寺社の造営や修理の費用を調達するために、庶民や武士から寄付を募る目的で催された能の興行を何というか。四本柱の舞台を取り囲む大勢の観客を描いた絵画資料が残されていることでも知られる。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. 猿楽能 2. 勧進田楽 3. 勧進猿楽 4. 田楽能

問10 室町幕府において、将軍を補佐して政務を統括し、足利一門の有力守護大名である細川・斯波・畠山の3氏から交代で任命された役職を何というか。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. 管領 2. 執事 3. 所司 4. 探題

問11 室町時代後期から戦国時代にかけて、明から輸入された銅銭のなかに、鋳銭(びたせん)と呼ばれる粗悪な私鑄銭が混じるようになった。これにより、取引の際に良質な貨幣を選び、悪質な貨幣の受け取りを拒否する行為が横行して流通が混乱したため、室町幕府や戦国大名がこれらを規制し、特定の貨幣の流通や取引比率を定めるために発布した法令を何というか。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. 段銭令 2. 半済令 3. 徳政令 4. 撰銭令

答え合わせ・解説 No.9

問1	答え 2 勘合貿易	足利義満は明の皇帝から「日本国王」に封じられ、朝貢の形式をとる日明貿易を開始した。この貿易では、明から支給された「勘合」と呼ばれる割符が使用され、これを持たない倭寇などの密貿易船と区別された。この貿易を通じて、大量の銅銭が日本に流入し、国内の貨幣経済の発達を促すこととなった。
問2	答え 2 安藤氏	安藤氏（安東氏）は、鎌倉時代から室町時代にかけて津軽地方や秋田地方を本拠とした武士の一族である。鎌倉幕府のもとで蝦夷沙汰職（蝦夷代官）に任じられ、津軽半島の十三湊を拠点に日本海交易や蝦夷地との交易を支配し、北方世界との結びつきを強めて繁栄した。
問3	答え 2 応永の乱	足利義満は將軍権力の確立を目指し、土岐氏、山名氏などの有力守護を次々と挑発して没落させた。1399年には、西国で強大な勢力を誇り、日朝・日明貿易で富を蓄えていた大内義弘を堺で滅ぼした。これにより義満による守護抑圧策は一応の完成を見た。
問4	答え 2 一遍上人絵伝	時宗の開祖である一遍の生涯や布教の旅を描いたこの作品は、鎌倉時代後期に一遍の弟子である聖戒が企画し、法眼円伊が作画したとされる。全国各地の景観や、備前国福岡の市に代表される当時の交易の様子、庶民や武士のリアルな生活実態が細かに描写されており、美術的価値だけでなく、中世社会史の貴重な歴史史料として高く評価されている。
問5	答え 3 北条氏	関東を支配した北条氏（後北条氏）は、小田原城とその城下町を強固な総構で囲み、豊臣秀吉の小田原征伐に対抗した。秀吉による小田原攻めでは、圧倒的な大軍による包囲の末に北条氏は降伏し、滅亡した。なお、鎌倉時代の執権政治を行った北条氏と区別するため、後北条氏とも呼ばれる。
問6	答え 3 愚管抄	慈円が著した『愚管抄』は、道理の歴史的推移を説いた歴史書であり、源実朝の將軍期における北条政子の政治的実権を「尼の世」として実質的に評価している。
問7	答え 1 光明天皇	後醍醐天皇の建武の新政に不満を持つ武士たちの支持を得た足利尊氏は、1336年に京都を占領し、持明院統の豊仁親王を光明天皇として擁立した。これにより、吉野に逃れて正統性を主張する後醍醐天皇（大覚寺統）の南朝と、京都の北朝が並立する南北朝の動乱が始まった。
問8	答え 3 博多	鎮西探題は、蒙古襲来の防衛拠点であり、古くから大陸との交易の要衝でもあった筑前国の博多に設置された。これにより、博多は北条氏による九州支配の政治的・軍事的拠点としての性格を強めることとなった。
問9	答え 3 勧進猿楽	室町時代には、寺社の造営や修理の資金（勧進）を集めるために、勧進猿楽と呼ばれる能の興行が頻繁に行われた。この興行は、観阿弥・世阿弥親子らによって大成された能（猿楽の能）が、幕府の保護を受ける一方で、広く一般庶民や武士の間にも浸透していたことを示している。現存する絵画資料には、円形の観客席に囲まれた四本柱の能舞台で演じられる様子が描かれており、当時の熱狂的な人気を伝えている。
問10	答え 1 管領	管領は室町幕府の將軍を補佐する最高職であり、足利氏の一門である細川氏・斯波氏・畠山氏（三管領）から選ばれた。鎌倉府は東国支配のために置かれた機関であり、御料所は幕府の直轄領を指す。
問11	答え 4 撰銭令	室町時代後期には、明銭のほかに国内で鑄造された粗悪な私鑄銭（鋸銭）が流通し、取引の際に良質な銭を選び出す行為が行われて経済混乱を招いた。これに対し、室町幕府や戦国大名は、特定の悪銭の流通禁止や、良銭と悪銭の交換比率を定める法令を出して、貨幣流通の安定を図った。